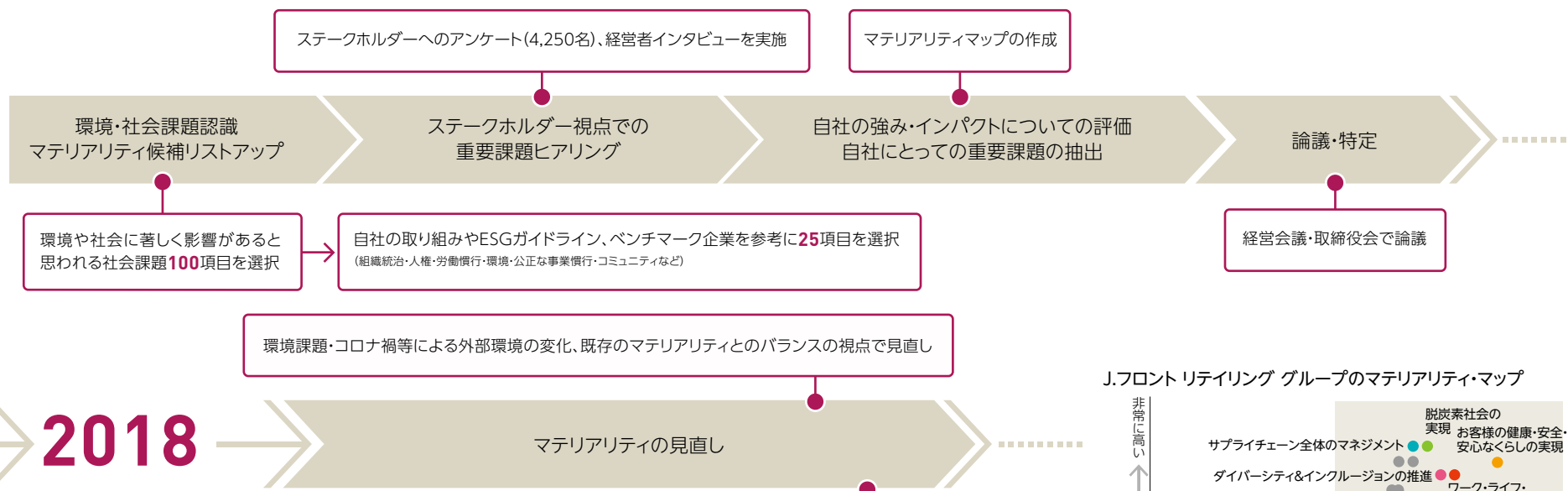


マテリアリティの特定と拡充

当社は2018年に、①当社が取り組む意義があり、成果を上げることが出来る環境・社会課題、②本業を活かして取り組むことが出来る課題という視点からマテリアリティを絞り込み、ステークホルダー4,250名へのアンケートや各種ESGガイドラインを参考に、社内論議を経て5つのマテリアリティを特定しました。2020年には、サステナビリティ経営の推進、グループビジョンのゴールである「Well-Being Life」の実現に向けて以下の視点でマテリアリティの見直しを行いました。そして、2021年から7つのマテリアリティへ拡大しました。



- 2018**
- マテリアリティ5項目を特定
- 「低炭素社会への貢献」
 - 「サプライチェーン全体のマネジメント」
 - 「地域社会との共生」
 - 「ダイバーシティの推進」
 - 「ワーク・ライフ・バランスの実現」

- 2021**
- マテリアリティ2項目を追加、3項目を更新
- 「脱炭素社会の実現」
 - 「サーキュラー・エコノミーの推進」
 - 「サプライチェーン全体のマネジメント」
 - 「ダイバーシティ&インクルージョンの推進」
 - 「ワーク・ライフ・インテグレーションの実現」
 - 「お客様の健康・安全・安心なくらしの実現」
 - 「地域社会との共生」

